

大島紬絣文様集Vol.1小柄（伝統柄）の編集とデータベース化

大島紬部

1 はじめに

大島紬の絣文様は、当初琉球絣を受け継いでいましたが、明治末、締機を発明することで独自の絣文様になりました。まず最初に登場したのが小柄であり、そのデザインの発想源は自然の事象、そして身近な暮らしの道具や遊具など様々です。

多くの小柄が残されていますが、まず名称のはっきりしているものを「伝統柄」として位置づけて編集しました。そしてその中から「新西郷柄」を選定し、ネクタイの試作にも取り組みました。

2 汎用画像処理ソフト（イラストレータ）による仕上がり想定技術の構築

業界で現在活用されている大島紬設計CADシステム（タフコン）は、規定の絣配列構成の図案作図には対応できますが、自由な絣配列となる小柄の作図はできません。そこで、汎用の画像処理ソフト（イラストレータ）を用いて、小柄の分解図から実寸の仕上がり想定を作図する手法を構築しました。（図1、2）

3 図柄の要素別分類

小柄の名称が名付けられた背景等を調査したところ、デザインの発想源ごとに14のグループに集約することができました。（図3）

4 編集内容と絣文様集の編集とデータベース化

編集内容は、小柄の図案設計図として活用できるように、仕上がり想定図のみならず織組織の分解図、絣締め羽割りや設計に必要な情報等を表記しました。（図4）そして、285柄を網羅した大島紬絣文様集Vol.1小柄（伝統柄）として編集し、データベース化しました。

5 小物製品（ネクタイ・名刺入れ）の試作

今回刊行した文様集の中から「新西郷柄」を選定して、小物（ネクタイ・名刺入れ）の製品を試作しました。（図5）

6 おわりに

現在、編集・データベース化した内容は、大島紬業界の閲覧希望される方を対象に、工業技術センターホームページからアクセスできる体制を整えております。

関心のある方は、お問い合わせ下さい。

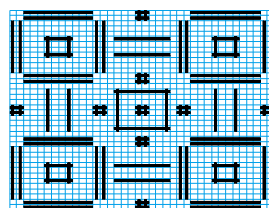


図1 織組織分解図



図2 仕上がり想定図

亀甲	大目	ツガ	ツガジュウ
西郷	赤尾木西郷	人名	元次郎
文字	日米	十の字	網十の字
花	精華	バラ	秋名バラ
風車	風廻し	タスキ	ツガタスキ
長	長十	車	十車
ソテツ葉	蘇鉄葉	チラシ	アタエチラシ

図3 図柄の要素別分類（コンテンツ）

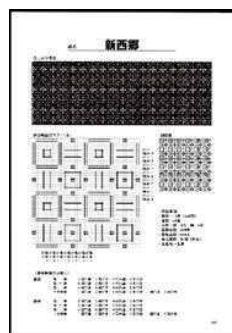


図4 編集内容の例



図5 試作品